

令和5年6月29日
水管理・国土保全局
河川計画課

世界各国との水関連災害に関する取組を強化 ～古川国土交通大臣政務官による国際会議等参加（スペイン）～

古川国土交通大臣政務官は、令和5年6月25日から28日までスペインに出張し、マドリードで開催された「第21回水と災害に関する有識者・指導者会議」(HELP21)に出席しました。

HELP21では、古川国土交通大臣政務官より、本年3月の「国連水会議2023」での議論の要点を紹介し、今後のフォローアップのあり方について提案しました。

また、世界各国に積極的に進出しているスペイン建設業協会(SEOPAN)との意見交換を行いました。

1. 水と災害に関する有識者・指導者会議について

水関連災害に対する各国の取組を強化、世界の意識啓発や各種提言・支援をするために、平成25年6月に設置された国際パネルで、各国の閣僚級、国際機関のリーダー等により構成されている。アジア・太平洋水サミット、世界水フォーラム、国連関係の水会議等への政策的助言を継続的に展開している。

2. 古川国土交通大臣政務官の主な行程：

○スペイン建設業協会（SEOPAN）との意見交換（6月26日（月））

本邦建設関連企業（コマツ・ヨーロッパ）同席のもと、会員企業の売上の8割を海外で獲得しているスペイン建設業協会（SEOPAN）幹部と意見交換を行った。建設機械を含む本邦建設関連企業とスペイン建設業の協力について議論を行い、今後とも継続して協力していくことを確認した。



SEOPANとの意見交換の様子

（左：ヌニェス会長・右：古川政務官）

○HELP21（6月27日（火））

古川政務官より、本年3月に開催された国連水会議2023の議論を踏まえた3つのキーワード（複合的な便益の追求、気候変動による損失の定量評価と投資の促進、現場での実践）を紹介し、同討議のフォローアップを共同議長の2か国（エジプト・日本）で主導していくことを提案した。



HELP21の様子

（奥右から2人目が古川政務官）

○バイ会談（6月27日（火））

HELP21参加国政府幹部2名とバイ会談を行った。

※詳細は別紙1参照

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川計画課 国際室 室長 こなみ 小浪、課長補佐 いげはら 池原（内線35365）
TEL：03-5253-8111（代表）、03-5253-8444（夜間直通）

古川国土交通大臣政務官による国際会議等参加(スペイン)

- 古川政務官がスペインで開催された「第21回水と災害に関する有識者・指導者会議」(HELP21)等に出席。
- HELP21では令和5年3月に開催された国連水会議2023における議論を踏まえ、今後も世界の水問題解決に貢献していくことを提案。特に、2024年の第10回世界水フォーラム(インドネシア)の機会を活用することで意見が一致。
- その他、水関連の課題に関するバイ会談、建設業協会との意見交換を実施し、今後の協力について確認。

開催概要

- 日 時:2023年6月26~27日
- 場 所:スペイン(マドリッド)
- 出席者:ハン・スンス議長、バスキ大臣他各国の閣僚級

バイ会談

- ・参加国閣僚級と水関連の課題について意見交換。
- ・インドネシア・バスキ大臣と来年の世界水フォーラム(インドネシア)開催に向けた連携を確認。
- ・スペイン・モラン環境長官に対して水資源管理を巡る今後の連携を確認。



インドネシア・バスキ大臣との会談



スペイン・モラン環境長官との会談

本会合(27日)

基調講演では、令和5年3月に開催された国連水会議2023「テーマ別討議3」の議論を踏まえた3つのキーワードを紹介し、同討議のフォローアップを共同議長の2か国(エジプト・日本)で主導していくことを提案した。



基調講演の様子

- その他、次の内容において国交省が対応を行った。
- 熊本水イニシアティブについて、国連水会議のフォローアップの一環として提示。
 - 民間企業の気候変動情報開示に資する洪水リスク評価手法を紹介。

SEOPANとの意見交換(26日)

本邦建設関連企業(コマツ・ヨーロッパ)同席のもと、会員企業の売上の8割を海外で獲得しているスペイン建設業協会(SEOPAN)幹部と意見交換を実施。



SEOPAN会長等幹部との意見交換